

議会だより



未来は僕らが引っ張るぞ！

我歴ストック～澁進編～キッズブースにて

6月定例会・条例・補正・臨時会	2～3
復興シリーズ第4弾 住み心地はなじよだべ	4～5
ズバリ町政を問う(10議員が一般質問)	6～16
委員会活動 各浜の声に耳を	17
議会住民懇談会 みんなの意見が町を変える	18～19

あらまし

会期 6月18日から20日
初日から2日間、10人の議員が一般質問を行った後、一般議案12件、条例8件、補正予算7件を慎重に審議し、その結果、すべての案件を原案どおり可決し閉会しました。

一般議案

契約の一部変更

- ◇女川町庁舎等整備事業
建設工事
・変更前の金額
41億3769万6千円
・変更後
42億9267万6千円

契約の締結

- ◇女川港石浜地区
護岸その他工事
・契約金額
9558万円
・契約相手方
田中建設(株)

条例

- ◇女川町役場の位置を定める条例
・女川町女川浜字女川178番地
KK18街区1画地
- ◇女川町生涯学習センター条例
・主な施設
ホール客席412席、ステージ、研修室、楽屋、事務室、倉庫等、図書室予定蔵書8万冊

問 セキュリティ対策費による増額が、当初設計に入っていない理由と内容は、

答 どのような方法がよいか検討するためです。
中央監視室から一斉に開閉ができ、出入りの場合はセキュリティカード等で入る仕組みです。

※1 所得、資産に応じた費用負担 ※2 世帯、人数に応じた費用負担

・使用時間
午前9時～午後9時
・休館日 毎週月曜日

◎4方式
*1 応能・応益 (57対43)
*2 応能・応益 (55対45)
3方式
資産割をなくしたことによる変更

◎現行(4方式)
一人当たり
9万7千円
⇐
県単位化(3方式)
一人当たり
11万4463円
・施行期日
平成31年4月1日

問 物品の販売等営利目的の使用料は3倍相当額とありますが、非営利と営利の違いは、

答 営利とは販売で利益を構成員に分配することであり、団体に利益を共有し合う場合、非営利となります。

◇女川町税条例等の一部改正

◇女川町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正

◇女川町国民健康保険条例の一部改正

平成30年度からの県単位化に伴い、算定方式を4方式から3方式へ改め、所得割の税率および平等割、均等割の金額を改め、それによる軽減額を改正するもの

答 今回は3方式に改め、今後の上昇率を見込み、現行の税収額に1000万円をプラスしたこと、介護分の負担を県単位化に合わせて、世代間のデコボコを直すという形での提案です。

上げ幅を抑える軽減策を

問 急激な値上げを抑えるために、繰り入れの努力が必要だったのではないですか。

答 全体として7割程は軽減か同額になります。しかし、急激に増える年代もあり、今後は別の枠組みをつくり軽減措置を図る対応をします。

問 来年度は医療分所得割、均等割、平等割は下がるものの支援金分、介護分の上げ方が大きすぎます。なぜこんなに上げなければならないのですか。



真剣なまなざし
放課後児童クラブ



定住促進に

◇女川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者で、町長が適当と認められた者とはどういことですか。

答 資格がなくても、臨時職員として5年以上放課後児童クラブに勤務すれば、放課後児童支援員として職員になることができます。

出島辺地総合整備計画の変更

◇事業費
・変更前 93億円
・変更後 144億円
変更の理由
出島架橋事業に係る労務費や資材費の高騰等



女川で起業
犬専門木工房ノア
来てね

一般会計補正予算

歳入歳出予算に、それぞれ1億4309万4千円を追加し、予算の総額を、333億7696万5千円としました。

歳出の主なもの

- ◇番屋移設等工事 250万円※①へ
- ◇水産業共同利用施設復旧整備事業補助金 274万5千円
- ◇まちなか創業新規立地促進事業補助金 400万円
- ◇漁港施設機能強化事業 6398万2千円
- ◇鶯神浜地区駐車場整備設計業務委託料 520万円

①各浜の番屋は

問 飯子浜の番屋移設、尾浦の番屋撤去工事との説明ですが、他の浜の移設等はないのですか。撤去とあります

答 各浜に番屋は12施設あり、他は移設が済み、この2件で終了です。撤去後再利用はせず、平地として活用します。

第4回臨時会

5月7日開催、原案どおり可決しました。

一般議案

専決処分

◇女川町税条例の一部改正

◇女川町国民健康保険税条例の一部改正
・基礎課税額の最高限度額を54万円から58万円に引き上げる

契約の締結

◇女川町役場新庁舎災害対策室原子力災害対策整備工事※②へ
・契約金額 5832万円
・契約相手方 (株)竹中工務店
・工事概要 災害対策室空調改修工事一式
166・31平方メートル

②トイレはあるのですか

問 何人が何日間使用し、外のトイレには防護服を着ていくのですか。フィルターは何時間もつのですか。

答 60人が7日間使用できます。簡易トイレも検討します。フィルターは5千時間以上使用できます。

条例

◇女川町営住宅条例の一部改正
入居者の資格条件で政令月収15万8千円で

あったものを25万9千円に改正するもの

問 若者定住に有効とは思いますが、収入超過者は3年経過後大きな不安をかかえており、本町から転出しないうような検討すべきでは。

答 入居基準を緩和し、定住につなげたい。収入超過者には理解を得られるよう努力します。
2分の1の期間、戸建て住宅の払い下げ価格の問題、不公平感がないような形でのタイプ別の活用など検討していきます。

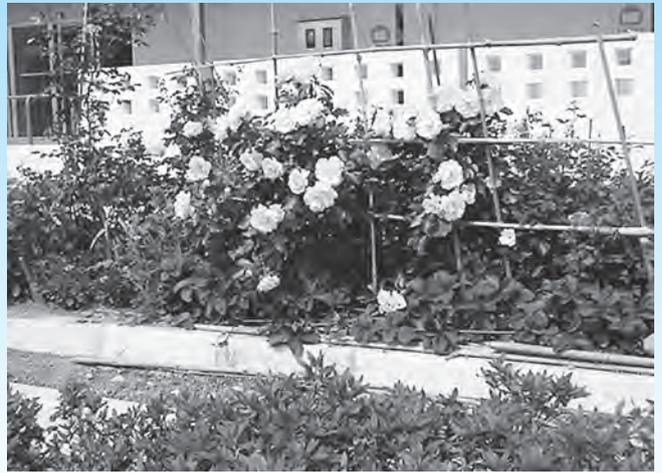
補正予算

債務負担行為

◇女川出島線道路新設工事(第2期)期間 平成31年度～平成32年度
限度額 27億円



オーシャンビュー



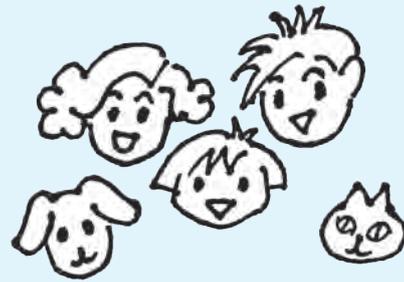
バラの花が見頃

女川住宅

住宅訪問記



なじよだべ



平成30年3月、宮ヶ崎70戸で、全災害公営住宅859戸が完成しました。各地域に住む、皆さんの暮らしの声を聞いてきました。



風通しが良くて涼しいね

小乗地区



宮ヶ崎地区

見事に初収穫



行きはよいよい、帰りはバスが欲しい





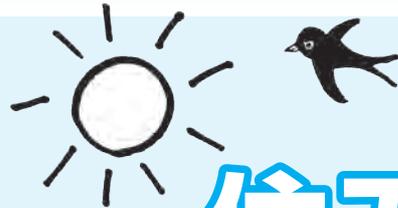
ラジオ体操で多くの友だちができました



きれいに咲いだっちゃん

大原住宅

復興シリーズ
第4弾



災害公営

住み心地は



荒立住宅 買物が不便だけれど、今までと比べたら天国

チビちゃんと暮らせる
住宅に来ました



議会も、皆さんがより一層
安心して暮らせる環境、地域
づくりに努めます。



竹浦のシンボル、こんびら琴平さんも見えますよ

竹浦地区



収納が少ないけど、
それ以外は充分

震災後、
娘さんも群馬からUターン

竹浦は、災害公営住宅と自立再建の家
屋との調和がとれるよう、皆で話し合い、
デザインを工夫しました。



一般質問



町政を問う

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

10 議員が質問



佐藤 良一議員…………… P 7

- (1) 町民農園・体験農園の開設を
- (2) 誘導標識と省エネ対策は

伊藤 恵悟議員…………… P 13

- (1) 今だからこそ住みたい町、来たい町に
- (2) 景観管理をする公園緑地課の設置を

宮元 潔議員…………… P 8

- (1) ホタテ貝毒で出荷できず即急の措置を
- (2) レンガ道、道路から広場等に変更を
- (3) 各区に新しいゴミ箱の設置を

酒井 孝正議員…………… P 14

- (1) 西区(眺湾荘)道路拡幅は
- (2) 女川町長期発展計画の進捗状況は

平塚 勝志議員…………… P 9

- (1) 復興事業の完了はいつ、その後の計画は
- (2) 鹿駆除の効果、被害対策は

阿部美紀子議員…………… P 15

- (1) 女川町のSDGs達成は
- (2) 生きがいづくりで健康長寿を
- (3) 水辺の安全、浮輪などの設置を

木村 征郎議員…………… P 10

- (1) 人口減少の現実をどのように考えるか
- (2) 分譲価格を早く低く示すべき
- (3) 学力、体力とも県並みを目指せ

阿部 律子議員…………… P 16

- (1) 通学路等の安全対策は
- (2) 町民総参加の避難訓練を
- (3) 安心して暮らせる対策の強化を

阿部 薫議員…………… P 11

- (1) 出勤簿押印の見直しを
- (2) 災害公営住宅、駐輪場の運用と整備は

高野 博議員…………… P 12

- (1) 避難計画は未解決の課題、山積み
- (2) 国保税、今年は値上げ見送りを
- (3) 寺間の棧橋に手すりを

あなたも議会を 傍聴してみませんか

■次回の定例会は9月3日からの予定です。

■詳しくは町議会事務局(電話54-3131内線271)へ
お気軽にお問い合わせください。



問 町民農園・体験農園の開設を

答 近隣市町等の情報を収集し検討

問 震災後、大多数の世帯が自立再建、災害公営住宅の戸建てや集合住宅に仮設住宅から移り住むことができませんでした。しかし心の悩みが完全に解決したわけではありません。

農業や緑とのふれあいは生活にやすらぎや潤いをもたらし、心身をリフレッシュさせます。近年全国的に市民農園や体験農園による農業体験の需要が高まっています。

本町においては、高齢化による担い手不足で休耕田があります。また、清水公園エリアに貸出農園開設の計画を取り入れてはどうですか。

さらに観光水産（あがいんステーション）と農業の体験施設との一体感が生まれると思えますがいかがですか。

答

産業振興・復興推進課長

本町の休耕田は、清水地区に1・9畝、針浜地区に3・8畝あり、現在は、応急仮設住宅敷地等として活用しています。

清水公園エリアは、総合運動場、駐車場、親水公園を整備する以外の場所、貸出農園を設置するスペースの検討は可能です。今後、関係課と規模等を検討、協議していきます。

先日、女川町観光協会

の情報館「ぷらっと」で涌谷町の協力により、農産物の産直市を開催しました。こうした取り組みでノウハウを積み重ねながら、水産と農業の相乗効果が一層高まるよう、公民ともに積極的に検討していきます。



健康・収穫・一石二鳥

誘導標識と省エネ対策は

問 新庁舎の完成は9月末と伺っていますが、その際省エネ対策はどのように工夫をしていますか。

誘導灯は365日通常電源を必要とします。誘導灯、誘導標識に限定し、LEDの電気使用量を考えた時、現在全国的に広く採用されている、有田焼の技術を応用した電力不要の蓄光式の誘導標識を取り入れては。

有田焼の釉薬は非常に透明感が高く、原料の石と強度を高くするガラス質釉薬を粉にして混ぜて

焼くことによつて、強度も高く火にも強くても明るいので本町でも検討してみたいかがですか。



防災意識は日頃から

蓄光式の誘導標識は今後検討が必要

答 町長
管財管繕課長

新庁舎の省エネ対策は、照明をLED、トイレと給湯室は人感センサーを設置、エアコンは個別管理方式を採用、太陽光発電も設置しています。

誘導灯については、新庁舎が複合施設になっており、消防法の規定により誘導標識ではなく誘導灯を設置しなければなりません。すべてLED型の誘導灯を設置しています。

有田焼の誘導標識については、市場の駐車場入口で採用しており、津波の際の避難や避難所への誘導サインとして検討が必要と考えています。

宮元

潔 議員



問 ホタテ貝毒で出荷できず即急の措置を

答 県漁協とともに漁業共済の加入を促進

問

昨年は半成員のへい死や変形で、水揚が5割程度の大打撃となりました。

今年になりやつと水揚げを迎えたこの時期に、麻痺性貝毒が検出され、出荷できない状況が続いています。

①昨年に引き続き、養殖業者が危機的状況となっている現在の状況を把握していますか。

②ホタテが水揚されるまで、女川町として貸付けや、利子補給などの緩和措置をすべきでは。

③漁業共済の補助を今後も続けてはいかがですか。

答

町長 産業振興課長

①貝毒は、本年3月から発生し、出荷自主規制を継続しています。長期の規制は前例がなく、生産者にとって厳しい状況が続いています。

②現在、町では、ホタテ養殖業者の種苗購入資金の円滑化を図るため、年利1割の利子補給を実施中です。

③震災後、漁業共済掛金に対しては、通常の補助率に加え、上乘せ補助を実施しています。

今後の継続については、加入状況等を勘案する必要があると考えます。

レンガ道、道路から広場等に変更を

問

レンガ道を使うにあたり、必要不可欠なことから、道路使用許可が必要です。

①レンガ道を道路とした経緯は。

②レンガ道をよりよく使いやすい方法を考えていますか。

各区に新しいゴミ箱の設置を

問

各区のゴミ捨て場のゴミ箱は、新しい地区は町が設置し、被災しない地区は従来どおり各地区が負担して設置しています。見比べてみると不公平差があると思います。

①古くて使いづらいゴミ箱は、どれくらいありますか。

②不公平差を解消するためにも、コンクリートで覆った清潔なゴミステーションに順次、変更してはどうですか。

答

町民生活課長

①町内の離島を除くゴミ集積場所は208カ所です。

古いゴミ箱は、地区で修繕等を行い、対応していただいています。大部分が古くなっていると思われる。

②行政区のゴミ箱の新設や、修繕等については、従前どおり女川町地区自治活動事業補助金を活用するなど、各行政区において、設置及び維持管理をしていただきたいと思います。

道路としての安全かつ適切な利用が重要

答

町長 復興推進・産業振興課長

③今後、広場等へ変更はできませんか。

①災害時には、集客施設から高台への避難道路の役割を担う路線と位置付

け、道路としました。②事故やトラブルを未然に防止するため、道路としての適正な手続を踏まえて活用していきます。③補助事業としての制約もあり、今時点での変更は難しいと考えます。



こんなに違いがあって不公平では



問 復興事業の完了はいつ、その後の計画は

答 平成32年度末までに完了予定です

問 平成30年度は、本町の復興期間最終年度となります。住環境については、計画どおり整備が進んでいますが、まだまだ本年度中に完了しない事業もあります。

復興交付金での事業はいつ完了しますか。
また、その後の計画はどうなっていますか。
①復興交付金事業で、平成30年度まで完了予定の事業と平成31年度以降完了となる事業費の割合は。
②応援職員や復興交付金に係る事業委託はいつまでですか。

③復興計画（平成30年度まで）終了後の平成31年度以降の長期計画の概要は。

答 町長
復興推進・総務・企画課長

①現在、復興交付金の全体事業費は1755億円、平成30年度末までに1555億円の事業が完了する見込みです。完了割合としては、88%となります。平成31年度以降の事業費は200億円で平成32年度末までに完了する予定です。



清水緑地公園
平成33年3月完成予定

問 高台住宅地は無にも鹿が現れ、その被害も出ています。鹿駆除については、町としても従前から、広報無線で町民に周知している猟銃駆除をはじめ、さまざまな対策をしていますが、
①現在の鹿駆除状況と過去数年の実績は。
②各集落への鹿侵入対策は。

答 産業振興課長

①平成30年6月末現在で駆除数は179頭です。27年度は155頭、28年度は226頭、29年度は333頭です。
②鹿の侵入対策として、町民の皆さんから要望があった際には、海苔網を無料で配布しています。旭が丘区などでは、区民有志で地区周辺に侵入防止用の網を設置した事例があります。引き続き、町民の皆さんのご協力をお願いします。



有志で設置(旭が丘)



捕獲用網入手、必要な方は産業振興課へ

県、関係機関とともに駆除増高に努める

②発注者支援業務、コーデイネート業務を平成32年度まで必要と考えており、応援職員についても同様とするところです。
③復興計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえた基本構想と基本計画、離島振興計画で構成し、産業や福祉、教育等各分野における今後10年の指針となる将来計画です。



問 人口減少の現実をどのように考えるか

答 人口減少を踏まえ活動人口を維持

問 本町の復興事業費は約1700億円であり、町民一人当たり2600万円になり、被災地で最大です。

復興計画の最終年度にあたり次の点を伺います。
①本町の復興づくりは高い評価を得ていますが、人口減少率は最大であり、町長はこの両面をどのように受け止めていますか。
②住民基本台帳と現実の住民分布が大きくかい離していますが。
③各行政区の人口の差異が大きい。再編を考えていますか。

答 町長
町民生活・総務課長

①人口減少とまちづくりを考えたとき、積み上げてきたものの利活用、定住数という分母が減っても活動人口を減らないようにすることが、問われてくると思っています。
②女川北区等新行政区の設立に伴い、的確な行政区別人口になる作業をしており、住民からの届け出と合わせ、今後かい離

が解消していきます。
③特に離半島地区の動向の見極めが必要であり、地元の意見を聞きながら対応していきます。

問 本年3月で災害公営住宅859戸が完成しましたが、多くの空室が生じ、今後の財政運営が懸念されます。
①現在の入居状況を示して下さい。
②人口定着、定住促進のためにも分譲価格を低く設定し早く示すべきです。
③県の住宅供給公社に毎年9000万円の管理委託料を支払うことになり、東松島市のように一部でも町が直接管理すべきと考えますが。

答 町長
町民生活課長

①859戸に対して入居戸数、予定戸数を除いて44戸の空室があります。
国への承認準備をすすめていきます

②住宅譲渡は町の計画を策定後、価格も含め国に申請しその承認を得る段階で進めていきます。
③地域で受け皿があり、法の縛りがなければ地元でという選択肢もありましたが、マンパワー等、委託せざるを得なかった状況です。

今後、受け皿をどう作るかといった課題については全体的に対応していきます。

問 復興の加速化により教育環境も改善されつつあり、2年後には小中一貫校が完成する予定の中で、次の点を伺います。
学力、体力とも県並みを目指せ

①小学校での「うみねこルール」設定の経過と効果を示して下さい。
②教育環境改善の中で、学力、体力とも県並みを目指すべきと考えますが。
③子どもの安全を守る観点から大川小津波訴訟の高裁判定をどのように受け止めますか。

答 町長
教育総務課長



目指せ！オリンピック

今後課題に向け鋭意、努力します

①ゲーム機やスマートフォンの使い方について、児童会の代表委員会で話し合っルールを決めました。現在は、約9割以上の児童がルールを守り、生活改善や学力向上につながっています。
②学力、体力を県のレベルまで持つていくことは教育行政に携わるもの使命感であると認識しており、今後も課題に向け努力していきます。
③現在上告中の事案であり、答弁は差し控えさせていただきます。

阿部

薫
議員



問 出勤簿押印の見直しを

答 出勤管理に必要な措置です



出勤簿押印状況

問

今年9月、総事業費約40億円強の庁舎等整備事業建設工事が完了、10月より運用開始予定で進行中です。

仮設庁舎から本庁舎移転に伴い、是非業務改善策の実施をと思います。

特に、出勤時における職員の手押印、出勤簿の見直しをと思います。

①総務課入り口での押印確認で得られる効果とは。

②押印作業でのロスタイムを執務室等の清掃等の作業に振り向け、管理経費削減の一助としては。

答

総務課長

①出勤時における出勤簿への押印は、服務規程に基づく職員としての義務であり、勤務状況の明確化、労働安全衛生法上の助言、指導を図るうえでも適切と考えています。

②押印は、原則勤務時間前であり、その後各課若手の職員にあっては、伝統的に執務室内の清掃などを行っています。

ご提言の管理経費の削減にあっては、従来から課題としてとらえており、今後もその削減に努力していきます。

災害公営住宅、駐輪場の運用と整備は

問

町内災害公営住宅は、運動公園を始め集合住宅は6力所が完成し、町民も長い間の願いが叶いました。そこで伺います。

①入居者貸出駐車場の運用台数と利用率は。

②駐輪場の台数スペース。

③風雨の際、対応策としてサイクルラック設置案はなかったのか。現況判断し早期設置実施を。

駐輪ラックの設置を検討します

答

町民生活課長

①貸出用駐車場は631台、利用台数は556台で88%の利用率となっております。

②町内6地区 集合型災害公営住宅の各駐輪場スペースにおける駐輪可能台数は393台です。

③駐輪ラックの設置については、入居者の方々と接する機会に要望等を聞き取りするなどして、その状況に合わせて、検討していきます。



自己管理対策をしています



強風で倒れ、自転車が傷みます



問 避難計画は未解決の課題、山積み

答 関係機関共通の課題として協議・検討

問

原発の避難計画について伺います。

①避難計画の残された課題をどう認識し、対処されていますか。複合災害時の避難先、退避検査所、福祉施設や病院の避難先、新行政区の避難先、駐車場確保等は大丈夫ですか。②福島事故を避難計画にどう生かしていますか。1号機は地震から水素爆発まで1日です。その間炉心溶融が起きています。被ばくを避ける避難計画なら、10条通報で幼児・児童・生徒を避難させる計画に変えるべきです。

答

町長 企画課長

①離島の孤立化対策、バスや福祉車両の確保、医療機関等入所者の受入先など課題が挙げられますが、本町だけではなく、国、県、関係自治体においても共通の課題として原子力防災協議会作業部会で協議、検討を行っています。

また、新行政区の避難先についても今後調整を図っていきます。

②福島の事故を教訓に、事故は発生する可能性があるとの認識を持ち、訓練の継続で実効性を高めていきたいと考えます。

③避難経路は、基本経路とともに、複数の予備経路を設定しています。

洪水対策は、退避検査ポイントの追加や、県警本部等と連携し渋滞緩和措置を図りたいと考えます。

また、測定器の配布についても検討していきます。



いま何ミリシーベルト

③避難路の現状と渋滞対策は。石巻市民も1万人が栗原市に、また1万6000人登米市にも本町と同時に避難します。何時間も何日も渋滞するのでは。小型の放射線測定器を持たせてはいかがですか。

	市町村国保	協会けんぽ
保険者数 (平成25年3月末)	1,717	1
加入者数 (平成25年3月末)	3,466万人 (2,025万世帯)	3,510万人 被保険者1,987万人 被扶養者1,523万人
加入者平均年齢 (平成24年度)	50.4歳	36.4歳
65~74歳の割合 (平成24年度)	32.5%	5.0%
加入者一人当たり医療費 (平成24年度)	31.6万円	16.1万円
加入者一人当たり 平均所得(※3) (平成24年度)	83万円 一世帯当たり 142万円	137万円 一世帯当たり(※4) 242万円
加入者一人当たり 平均保険料 (平成24年度)(※5) 〈事業主負担込〉	8.3万円 一世帯当たり 14.2万円	10.5万円<20.9万円> 被保険者一人当たり 18.4万円<36.8万円>
保険料負担率(※6)	9.9%	7.6%

国保の負担、協会けんぽと比べて下さい

問 国保税、今年も値上げ見送りを

問

①今年度は国保税の値上げはすべきではない。

②国保の構造問題を解決するため、全国知事会は公費負担の増額を要求しています。町長の見解は。③町独自の軽減策を。

答 今年度の国保税は現行のままです

答

町長 ①今年度の国保税は現行のままと考えています。

②全国知事会は、国が3400億円の追加財政支援を行うことで合意したと認識しています。

③町独自の国保税軽減策は、何らかの対応をしていきます。

寺間の棧橋に手すりを

問

寺間の棧橋に手すりを設置すべきです。

6月末頃手すり付きタラップを設置予定

答

企画課長 シーパル女川汽船で、6月末頃、手すり付きのタラップを設置予定です。



荷物を持つての上り下りは危険です



問 今だからこそ住みたい、来たい町に

答 関係機関と協働し住み良いまちづくりを

問

先日、女川町が都市景観大賞都市空間部門で最高賞に選ばれたことは、大変素晴らしいことだと思います。今まで本町に関わって下さった方々の努力が形になった一例だと思います。ただ、人口減少しているのも事実、交流人口も一時よりは減ってきているのも事実です。

①町内定住者、交流人口を増やすためのさらなる工夫として、住みやすい町にするためにできることからすべきです。

町内に街路灯、防犯灯が無いエリアが多く、住みたい、住みやすい町にするためには夜道も明るい安全な町であることは必須です。町の中心部だ

けでなく、従前地区も含めた今後の計画を伺います。

②道路の安全面において歩道も無い箇所や雑草などで見通しの悪い箇所があります。どのような対策をしていますか。また、どのような対策を検討していますか。

③初めての来町者に対して、わかりやすい道案内標識等の優しさが必要では。

答

建設・町民生活・復興推進課長

①中心部は、住民の動線に合わせて設置箇所を整理し、段階的に設置していきます。また、従前地区は、各行政区と連携し、的確な整備を図ります。

②道路に隣接する土地が低い場合、車道については、ガードレール、急カーブ箇所では、カーブミラーや矢印の反射板などを設置しています。歩道が有る場合は転落防止柵を設置し、歩道と車道の間には歩車道境界プロックを設置し事故防止対策を図っています。また、国道の歩道が無い区間について、引き続き県に対して整備を働きかけていきます。

③現在、案内看板設置事業の実施にあたり検討中であり、分かりやすい道案内になるよう関係各課と調整を図っていきます。

景観管理をする公園緑地課の設置を

問

①町の中心地、町の顔でもある仮称メモリアル公園や清水エリアの公園等、緑の増える町づくりにおいて、景観大賞に見合った景観を維持管理するために、業者委託だけでなく、専属の公園緑地課があっても良いのでは。

②町の造成等によって増えた、細かく点在する町有地の今後の管理の考え方は。

③各行政区に草刈り機の提供がありました。各地区で景観の管理をするようにとらえていけば良いのですか。

答

総務・管財営繕・町民生活課長

①現状は、専属の課を設置することなく、目的に沿って現行または組織改編も視野に所管課を定める方向です。趣旨は理解できますので、効果的、効

現行の組織体制で工夫していきます

率的な管理運営ができるよう工夫していきます。

②緑地や法面等は、町の管理となりますが、各行政区でも生活に支障が出ないよう、クリーン作戦等で地域内の環境保全に協力をお願いしたいと考えています。

③環境整備活動の効率化や、クリーン作戦の再開に向けた一つのきっかけとしての提供です。



歩道だけでなく道路も明るい工夫を



小さな規模でも綺麗な場所には人は来る



問 西区(眺湾荘)道路拡幅は

答 時機を見て慎重に検討していきます

問

女川町復興計画の道路港湾・漁

港・公営住宅・土地造成等の事業完了が実感できない年度となりました。観光工リア・清水公園工リア・小中学校建設・水産用地造成等の平成32年度完成が楽しみです。
反面、被災されなかった地域の課題も見えてきました。特に道路は生活に直面しており、拡幅を求める要望は多くあります。西区(眺湾荘)は地形、土地所有者等の課題で道路拡幅できなかったと思います。当局の眺湾荘道路拡幅取り組みについて伺います。

答

建設課長 復興事業が進み、新たな街が現れるにつれて、被災を免れた地域の方々から被災しなかったところが取り残された、あるいは不公平ではないかとの意見が寄せられたことがあります。町では、マイナスになった場所をゼロに戻しているところだと理解を求めています。

当該地区においては、現時点で大規模な拡幅計画を立案していませんが、狭あい道路の課題は継続して認識していますので、時機を慎重に検討していきます。

女川町長期発展計画の進捗状況は

問

第5次長期発展計画は平成31年度

が初年度となります。復興計画は平成30年度で終了になることから、長期発展計画は平成29年度から計画策定中だと思います。長期発展計画はこれからの女川町が将来にわたって持続可能な魅力ある町の指針となることから次の点を伺います。
①計画立案に当たって重点項目は。
②町民からの意見集約は。
③中間報告は。

答

町長 企画課長

①住民意向調査による評価、まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標を踏まえ、専門部会と策定会議で議論を進めているところであり、今後重点項目を決定していきます。
②町民の意向把握、反映が重要と考え進めてきており、また公聴会のような場で、参加の機会を設けたいと考えています。
③ある程度形ができた段階で町民や議会に示し、意見を求めたいと思います。



生活道路、急がれる拡幅(眺湾荘)



消防車、通れますか

問 女川町のSDGs達成は

答 今の取り組みを包括的にさらに進める



阿部美紀子 議員

問

SDGsは、国連サミットで採択された、飢餓、貧困、教育、ジェンダー平等、エネルギー、資源保護など17項目を掲げ、2016年から2030年まで、193カ国が目指す世界共通の目標です。

①国の環境基本計画でも「地域循環共生圏」という考え方が示されました。各地域が自立し、分散型の社会を形成していき、再生可能エネルギーの地産地消に努め、温暖化対策、雇用拡大を図るとい

うものですか。
②住み続けられるまちづくりを。
2045年、女川的人口が52・5割減と推計されました。どのような対策を考えていますか。
また、自治意識の向上が不可欠ですが、意識を高めるための方策は。

答

町長 企画課長

①本町で事業化の可能性が高いと見込まれる木質バイオマス、洋上風力発電について、宮城県等と意見交換を重ねて本町に適切な事業モデルを模索しているところです。

②人口減少社会を踏まえつつ、子育て支援等の施策を含め、今実施していることそのものが対策であり、包括的にさらに進めていくことが必要と思います。

自治意識の向上で今後必要なのは、「行政、公共サービスなどの公共機能は、行政だけで背負うものではない。」ということだと思います。地域で支えていくという視点があります。重要になってきます。

参加しやすい仕組み、意識を涵養する仕掛けなど、視点を変えれば、住民の皆さんに直接的に参画していただき、一緒に取り組めるかというところを一つひとつ確かめながら考えていきたい。

生きがいづくりで健康長寿を

問

男性の平均寿命1位は滋賀県で、健康寿命は男女とも滋賀県が1位です。

スポーツ、趣味、ボランティア行動等と関係関係がありました。社会活動、生きがいづくりで健康寿命を延ばす取り組みを。

また、減塩、禁煙が健康寿命の伸び代と言いますが、女川の取り組みは。

答

生涯学習・健康福祉課長

老壮大学を再開させるなど、地域のコミュニティづくりとなる事業を、町民が参加する立場、教える立場両方で生きがいを持てるよう関係機関と連携し展開していきます。

また、減塩対策については、各集会所で栄養相談会を実施、禁煙対策については、医療センターの禁煙外来を利用し卒業する方が年々増え、着実に成果を上げています。

生きがいを持つ老壮大学を再開します



身近な地域のお助け人、草取り中

水辺の安全、浮輪などの設置を

問

各地の岸壁に、階段、梯子の要望があり、以前の議会でも同様の対策を訴えました。人命にも関わります。浮輪や古タイヤなどの対策も必要では。

復興状況を勘案し対応を検討

答

産業振興課長

水辺の安全対策の必要性は十分認識しています。

港や漁港施設の復興状況を勘案しながら、浮輪等の設置等を検討します。



落ちないでね

※1 持続可能な発展目標

※2 肉体的、心的男女平等

※ 東大医学系研究科調査



問 通学路等の安全対策は

答 関係機関と連携し現地調査を行います

問 通学路等の安全対策として横断歩道設置の声です。

特に、旧一小前交差点に歩道橋はあるものの劣化もあり、上り下りがきつく、利用者は少ない。万石浦住宅付近や特養おながわ近くの十字路(交通事故あり)に設置をなごです。

①通学路等の安全対策としての横断歩道は、まだ不十分なのは。住民や学校関係者の意見を十分に聞く中で、町全体を調査すべきでは。
②通学道路の整備を。特に浦宿特養おながわから万石浦住宅までの道路脇は段差があり、安全対策は最優先課題では。

③冬場の通学路の除雪に
関し、簡易な除雪機の買
入等対応すべきでは。

答 教育総務・建設課
長

①通学路は、学校や保護者および関係機関等と連携し現地調査を行い、安全が確保されているか見極めたうえで指定します
が、加えて学校での交通安全指導も徹底していきます。

②今後当該路線で雨水の大型水路を新設する計画があり、応急策として当該部分をすり付け舗装で対応していきます。
③それぞれができる範囲で、全町民の協力をいただきたいと考えています。



劣化がはげしく、利用者の少ない歩道橋

問 町民総参加の避難訓練を

毎年開催の原発避難訓練での参加

者は、バスに乗る半島の住民数人と離島の方々に。いくら屋内退避として数字上は多くても、実効性のある避難訓練なのか疑問が残ります。

①今年度の避難訓練には多くの住民が具体的に参加する体制を取るべき。
②車のない高齢者等要援護者へも具体的な避難訓練が必要ではないですか
③行政区ごとに衛星電話も必要と考えますが。

**実効性ある訓練に
向け引き続き協議**

答 企画課長

①本年度は広域避難の協定を締結した栗原市の訓練参加も見込まれ、避難計画に基づいた訓練ができるよう、原子力防災訓練の会議で協議・検討を引き続き行っています。

②昨年度、車のない高齢者を含めた要援護者を念頭に入れたバス避難訓練を実施しています。
③災害時に孤立する可能性が高い離半島地区には配備済みで、役場庁舎に近接する地区への配備は現在考えていません。



特養おながわ前



万石浦住宅前

**安心して暮らせる
対策の強化を**

問 半島の漁業者から多くの課題が出
されています。

①高台への住居移転による夜の浜辺の治安が悪化
防犯カメラ設置への補助等早急な対策を。
②塚浜海岸の水路への安全対策を。
③釣り客に対するマナーの徹底と、トイレや水道など町の責任で設置すべき。

**関係機関および地元と
協議していきます**

答 産業振興・町民生
活・復興推進課長

①町として、どのような関わりを持つか、関係機関と協議していきます。
②塚浜の水路は、防護柵の設置計画があり、地元説明会は実施済みです。
③マナー遵守看板は、復興状況を勘案し設置します。トイレの設置は、関係者と管理を含め協議します。

各浜の声にを

産業教育常任委員会

調査内容
各浜における隆起のその後について

調査期間
平成30年2月2日(金)
2月19日(月)
5月22日(火)
6月4日(月)

調査概要
2月2日(金)は担当者よ



現地視察中(桐ヶ崎)

「これまでの経緯について」「高さの基準、TP(標高)とDL(海上工事基準面)の考え方」、「女川管理漁港の対応状況」、「今後の漁港災害復旧工事と隆起対策について」の説明を受けた。

2月19日(月)は、現地向き、尾浦漁港、出島漁港、寺間漁港を調査。

5月22日(火)は、北浦(指ヶ浜、御前、竹浦、桐ヶ崎)、五部浦(小屋取、塚浜、飯子浜、野々浜)の各漁港を調査。

野々浜を除く10漁港では、行政区長、漁協関係者も、現地で立ち合った。女川町管理漁港12漁港中、11漁港の調査であり、未調査は江の島漁港のみである。

調査結果

各浜ともに地盤隆起の影響を受けており、荷物の上げ下ろしや、船への乗り降りに支障を来していることが改めて確認された。

災害復旧事業で、現状復旧されているが、従前どおりの高さで施工された箇所では、新たに梯子の設置などがされているところはあるものの、各浜の住民からは、さまざまな意見や要望があった。その中で一番多かった要望は、ほとんどの浜から、ゴム梯子の設置であり、そのほか、階段の設置、排水口へのスクリーンの設置等々、であった。

各委員から出た共通意見は、各浜によって、漁港の状況、住民の受け止め方が微妙に違うため、漁協などを通して意見集約をしてもらい、使い勝手のいいように対応されたいということであった。

女川町管理漁港以外の大石原、横浦、高白等の整備についても、宮城県管轄の港湾施設ということで難しい面もあるが、同じ町内の施設なので、最大限県への働きかけをお願いしたい。

執行部は、再度各浜からの要望を各支部で取りまとめ、宮城県漁協女川町支所経由で提出してもらい、優先順位を決めて対応していきたい。優先順位が最も高いのは、ゴム梯子の設置ということで、長期的には、年次計画を策定し、対応していきたい旨であった。

本委員会としては、短期的、中期的、長期的に案件を的確に整理し優先順位をつけ、計画的に整備することを要望する。

若者定住のは

復興まちづくり特別委員会

女川町が直面している人口減少。その対策を求め、7月3、4日、若者定住に先進的な取り組み

を行って、長野県阿智村、下條村を視察しました。詳しい報告は次号で。



若者定住促進住宅(100%村の財源)

閉会中の継続調査

- ◇総務民生常任委員会
- ・第7期介護保険事業計画について

・所在者不明土地及び空き家を取り巻く状況と課題について

- ◇産業教育常任委員会
- ・小中一貫校に向けた小中学生の通学方法について

◎両常任委員会とも、会期中に調査を終了することができないため

町を変える

動く

聴く

C 班	・尾田峯集会所	宮 元	潔
	・上五区集会所	佐 藤	良 一
	・まちなか交流館	木 村	公 雄
	・竹浦集会所		
D 班	・高白集会所	阿 部	薫
	・女川住宅集会所	酒 井	孝 正
	・西区集会所	鈴 木	公 義
	・尾浦集会所		

平成30年度 期間5月7日～11日

町内16カ所を会場に、
議員3人1組4班に分かれ実施しました。

乗り降りの安全を

- Q** 寺間船着場の浮き栈橋の階段に手すりの設置を
- A** 発注済となっており、7月末までには設置、完了する予定です **(建)**

イノシシ目撃

- Q** 鹿だけでなくイノシシも害獣に指定を
- A** 清水2号橋付近でイノシシの目撃情報を受けて、監視カメラを設置し監視中です **(産)**

誰に言えばいいの

- Q** 災害公営住宅に不具合がある場合は
- A** 早急に実態調査や聞き取りをし、改善に努めます担当は町民生活課です **(町)**

もっと宣伝を

- Q** とても素晴らしい子育て支援の施策をもっと宣伝すべきだ
- A** 7月下旬までに移住・定住の特設サイトを公開し魅力を紹介していきます **(総)**

暗い夜道に明かりを

- Q** 宮ヶ崎から石浜間に街路灯が少ないのでは
- A** 8月末までに設置完了する予定です **(町)**

通学路を安全に

- Q** 特別養護老人ホームおながわ付近の十字路に横断歩道を
- A** 各区より要望・要請があれば、公安委員会に要望していきます **(町)**

一小跡地活用は

- Q** 一小跡地を今後どうするのか
- A** 女川小学校が移転後、地域の住民の意見を聞きながら、道路、広場等に活用を考えていく予定です **(管)**

法面などの草刈は

- Q** 高齢化となり急勾配や、法面の草刈が難しい
- A** 安全な範囲で草刈を行ってください。町有地分は、ある程度生い茂ってきたら町が行います **(町)**

デマンドタクシーの再開を

- Q** 震災前のデマンドタクシーの再開はないのか
- A** 地域公共交通ネットワーク計画を基に、早期に検討します **(企)**

※担当課を丸印で表しました。

(総) 総務課

(企) 企画課

(管) 管財営繕課

(町) 町民生活課

(建) 建設課

(産) 産業振興課

議会・住民懇談会

みんなの意見が



A班	・浦宿一区集会所	伊藤 恵 悟
	・旭が丘集会所	阿部 律 子
	・塚浜小屋取集会所	木村 征 郎
	・まちなか交流館	
B班	・出島集会所	阿部 美紀子
	・宮ヶ崎集会所	平塚 勝 志
	・横浦集会所	高野 博
	・清水集会所	

主な意見・提言ランキング

- 1位 道路など**(アクセス道、通学路、歩道、危険な場所)・・・**30件**
主な地区(浦宿地区、女川地区、上区、清水地区、離半島部)
- 2位 漁港など**(岸壁の高さ、はしごの設置、背後地など)・・・**13件**
主な地区(離半島部)
- 3位 町民バスなど**(ダイヤ改正、ルート変更、デマンドなど)・・・**10件**
主な地区(旭が丘、浦宿地区、女川地区、上区)
- 4位 鹿(害獣)など**(鹿の被害多発、駆除、イノシシなど)・・・**8件**
主な地区(旭が丘、尾田峯、横浦、塚浜、西区)
- 4位 防災など**(備蓄食料、防災無線等)・・・**8件**
主な地区(離半島部、女川地区、旭が丘、上区)
- 6位 災害公営住宅など**(不具合、家賃、払い下げなど)・・・**6件**
主な地区(離半島部、西区、女川地区)



町民バスダイヤ改正を

- Q** 町民バスのダイヤをもう少し考えてほしい
- A** 今秋頃の大幅なダイヤ改正時に検討します **企**

備蓄食料の置き場

- Q** 備蓄食料をどこに配備するのか
- A** 集会所の規模に合わせて、早期に検討します **管**

※今年も222人のご参加がありました。
懇談会のまとめ(122件の意見・提言)を
各行政区長に届けましたのでご覧ください。
皆さんの声を反映し、協働のまちづくり促進に
役立てていきます。

キラキラ・いきいき



私たちの仲間に入りませんか



どれがお気に入り？



右奥のさつきは40年物

小さな鉢の大きな自然

花卉同好会

6月9〜10日、女川北区集会所（ずい道）において、花卉同好会の展示会が開催されました。さつき、山野草、樹木、大小さまざまな力作が、皆さんの目を楽ませてくださいました。

花卉同好会の歴史は古く、約60年前、チリ地震津波以前に結成されました。現在は、平塚文通会長をはじめ、26人の会員がいます。会長は、なんと、18歳から盆栽を始めたそうです。

いろいろな種類の盆栽がありますが、菊花が一番手がかかるとのこと。津波で鉢が全て流され、

山から実生の苗を探して育てた人もいます。盆栽を持たない会員もいますが、飲みながら盆栽談義をしたり、植木市見物の日帰り旅行もあります。

仲間からも一目置かれている内海さんは、「11月の町民文化祭に出すため、もっといいの」を作製中」です。楽しみですね。

花の好きな方、自然の好きな方、花卉同好会で一緒に楽しませんか。参加をお待ちしています。

連絡先 平塚 文通
☎54・3757



力作が勢揃い

● あとがき ●

5月の議会・住民懇談会では、多くの皆さんからご意見、ご提言をいただき、ありがとうございました。

6月議会でも皆さんの声を取り上げました。

今後共、ご協力をよろしく願います。

議会日より153号をお届けします。より見やすい紙面づくりに取り組んでいますので、きたんのないご意見をお寄せ下さい。

編集委員 阿部 律子



議	長	木	村	公	雄
委員	長	阿	部	美	紀
副	長	高	野	博	
委員		伊	藤	恵	悟
委員		宮	元	潔	
〃		阿	部	律	子
〃		阿	部	律	子
〃		阿	部	律	子